

第2期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略の特徴

(1)計画の位置付け・期間

①計画の位置付け

本町では、平成28(2016)年3月に「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて「金武町人口ビジョン」及び「地方版総合戦略(金武町版)」を策定し、人口の将来展望の実現にむけて各種取り組みを進めてきました。その目標期間は終了しましたが、本町における地方創生は今後も切れ目なく推進していく必要があります。

他方、本町では、まちづくりの指針として今年度「第5次金武町総合計画〔後期基本計画〕」を策定し、「みんなで築く 夢と希望がもてるまち」を目指してまちづくりを進めています。そのため、本戦略では、国や県の地方創生にむけた計画を踏まえながら、「第5次金武町総合計画」に基づき、人口増加及び維持にむけて、まち・ひと・しごとの好循環を目指します。

②対象期間

第2期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間は、第5次金武町総合計画〔後期基本計画〕の期間と同じく、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とします。

(2)国・県の人口に関するビジョン・戦略について

①国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和元(2019)年12月20日)

令和元(2019)年12月に国の長期の人口ビジョンである「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)」と、地方創生の目標や方向性等を示す「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。同戦略では、第1期の5年間で進められてきた取り組みの検証を行い、地方創生の目指すべき将来や、令和2(2020)年度を初年度とする5か年間の目標や施策の方向性等をとりまとめています。概要を以下に整理します。

計画期間:令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5か年間

ア. 基本的な考え方と政策の企画・実行に当たっての視点

- 地方創生の目指すべき将来として、「将来にわたって『活力ある地域社会』の実現」と、「『東京圏への一極集中』の是正」の2つを掲げている。
- 第2期の施策の方向性を踏まえ政策5原則が見直された。これを踏まえて施策を展開する。

政策5原則

| | |
|------|--|
| 自立性 | 地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。 |
| 将来性 | 施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。 |
| 地域性 | 地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。 |
| 総合性 | 施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。 |
| 結果重視 | 施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。 |

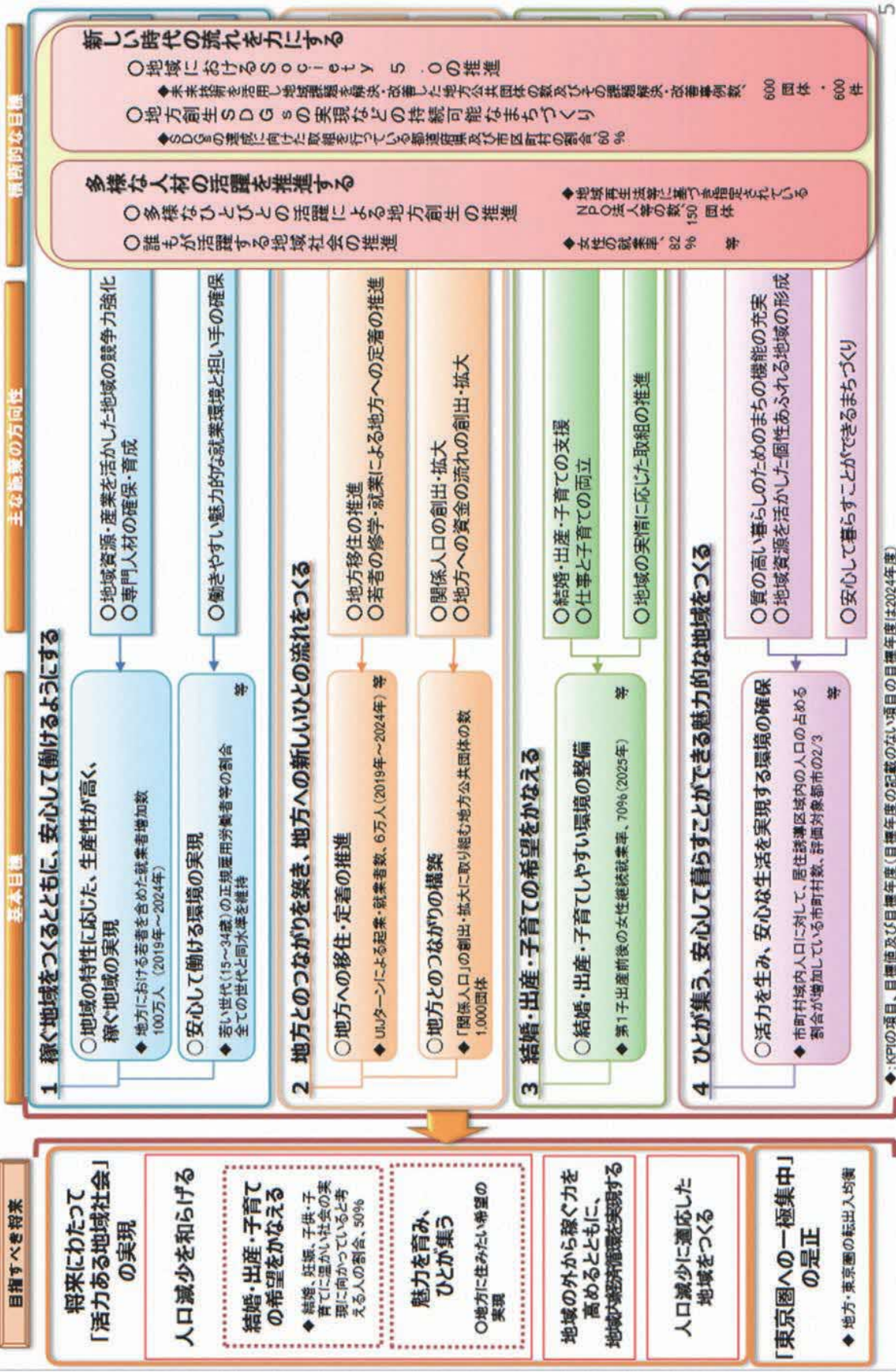
出典:まち・ひと・しごと創生本部「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』」より作成

イ. 今後の施策の方向性

- 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京圏への一極集中」の是正を共に目指すため、次の4つの基本目標と2つの横断的な目標を掲げる。

| | |
|---------|-------------------------------|
| 基本目標 ① | 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする |
| 基本目標 ② | 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる |
| 基本目標 ③ | 結婚・出産・子育ての希望をかなえる |
| 基本目標 ④ | ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる |
| 横断的な目標① | 多様な人材の活躍を推進する |
| 横断的な目標② | 新しい時代の流れを力にする |

第2期「総合戦略」 <第2期「総合戦略」の政策体系>



出典：まち・ひと・しごと創生本部「まち・ひと・しごと創成期ビジョン(令和元年改訂版)及び第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』(概要)」

②県の「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」（令和2（2020）年3月）

沖縄県では、まち・ひと・しごと創生法の施行に伴い、「沖縄県人口増加計画（改訂版）」を沖縄県版のまち・ひと・しごと創生総合戦略と位置付けていましたが、令和元（2019）年12月に国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことを受け、令和2（2020）年3月に「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画」として改定しています。同計画では国の総合戦略を勘案し、さらにSDGsの視点や関係人口の創出・拡大、新しい時代の流れを力にした取り組みなど施策の拡充等を図っています。県が講ずる施策の概要を以下に示します。

なお、同計画は平成24（2012）年策定の「沖縄県21世紀ビジョン基本計画」を補完する個別計画の一つとして位置付けられています。

計画期間：平成26（2014）年から令和3（2021）年度まで

ア. 人口増加にむけた施策の展開

- 人口増加にむけた施策の展開とその取り組みは、123ページの図のとおりである。

イ. 北部地域の概況と施策展開（金武町に關係する部分のみ抜粋）

- 地域の人口規模や産業構造、地理的環境によって施策の効果に違いがあるため、県内を5つの地域（北部、中南部、南部離島、宮古、八重山）に分け、地域ごとに概況と施策展開を整理している。

<概況>

- 北部は、県総面積の36.2%を占めており、総人口の9.2%が定住している。
- 名護市以南では人口の増加が見られるものの、その他の町村では人口が減少している。
- 転出入については、北部地域の離島と名護市、国頭村、大宜味村、東村、金武町において転出超過となっているが平成22（2010）年と比較すると、北部地域の離島と国頭村において転出超過が縮小している。
- 名護市、恩納村及び金武町においては、総人口指数が100を越える指数を維持する見込みであるが、その他の町村において、人口が大幅に減少していくことから、地域全体では平成52（2040）年頃までには、おおむね昭和50（1975）年頃の水準まで人口が減少することが見込まれている。

<婚姻率や出生率の向上>

- 若者同士の交流や出会いの機会を提供し、未婚化・晩婚化の対策を推進する。

<雇用創出と多様な人材の確保>

- 固有かつ絶滅のおそれがある種が多数生息するやんばる地域の自然環境の保全に努めつつ、豊かな自然環境や歴史的・文化的に優れた地域資源を生かした体験・交流型観光などの観光・リゾート産業の振興を図り、雇用の場を確保・創出し、社会増加につなげる。
- 観光関連産業と農業や水産業と連携したグリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズム、生活体験等の体験・滞在型観光を促進する。
- 農業従事者の割合は高いが高齢化が進んでいることから、農業分野への新規就農を支援する。
- 経済金融活性化特別地区制度を活用して企業集積を図り、雇用の場を確保・創出し、社会増加につなげる。

＜定住条件の整備＞

- ・県土の均衡ある発展のため、短中期的にはバス等公共交通の利便性向上を図り、長期的には鉄軌道等の導入を図る。
- ・情報格差の是正や高度な情報通信技術の利活用環境の形成を図る。
- ・県立北部病院における必要な診療科目の整備充実を図るため、必要な医師等の安定確保に取り組むとともに、各医療機関との連携強化を図る。
- ・高齢化率が高いことから、地域の実情に応じた福祉サービスの提供を促進し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進める。
- ・公平な教育機会の確保等のため、離島・過疎地域においては、高度な情報通信技術を活用し、各学校のニーズに応じた遠隔授業を推進する。
- ・高度な情報通信技術と離島の自然に恵まれた居住環境を生かし、在宅勤務や SOHO などのテレワークの導入促進を検討する。

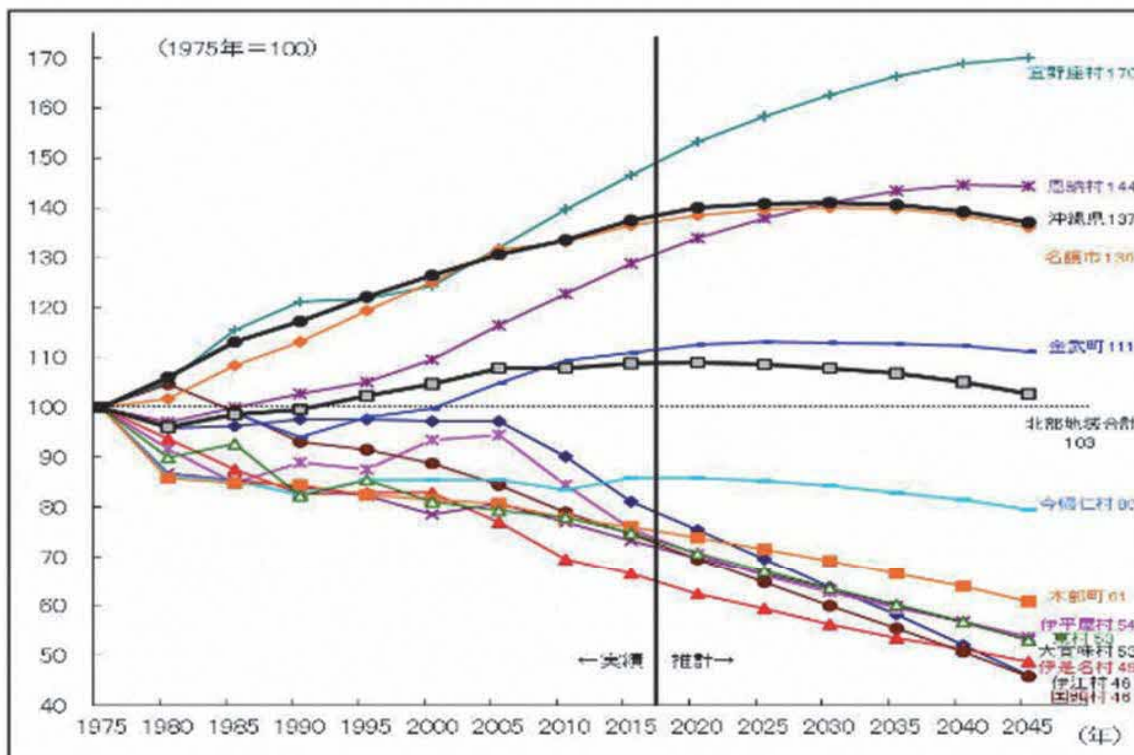
＜条件不利地域における U ターン・移住者の増加＞

- ・住宅については、民間による住宅供給が困難な離島地域等の特性に応じ、定住化に向けた、公営住宅の整備等を推進する。併せて古民家の利活用を促進し、定住促進に取り組む。

＜関係人口の創出・拡大＞

- ・都市部の若者などが一定期間、地域に滞在しながら働き、暮らし体験、地域住民との交流等を行うワーキングホリデーなどに取り組む。

図表 28 総人口指数の実績及び施策の効果を考慮しない場合の推計（北部地域）



(注) 上記の推計値は、平成 17 年(2005 年)～27 年(2015 年)の傾向が今後も続く場合の見通しであり、施策の効果は考慮されていない。(次の図表も同様)

(資料) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 30 年推計)」

出典：沖縄県「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画(沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略)」

沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）全体像

計画期間（～令和3年度）

理想的な展開
及び推計

目指すべき社会が実現し、理想的なシナリオが展開されると、
沖縄県の総人口は2035年に約150万人、2050年に160万人程度になると見られる

将来の人口減少を見据え、人口が増加基調にある現段階から積極的な施策を展開し、
地域の活力と成長力を維持・発展

令和2年3月、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、「沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改定（青字：改定箇所）

沖縄が
目指すべき社会

安心して結婚し出産・子育てができる社会
（自然増を拡大するための取組）

世界に開かれた活力ある社会
（社会増を拡大するための取組）

個性を活かした持続可能な社会
（離島・過疎地域の振興に関する取組）

取組の方向性

- ① 県民気運の醸成
家庭、地域社会、各職場で活動する県民への働きかけ
- ② 社会全体での協力・応援体制の整備
家庭や地域社会、職場、事業者、金融機関、NPO等との連携
- ③ 行政の支援体制整備
施策の総合的な推進、予算の重点的配分など
- ④ 県と市町村との連携
及び広域連携の推進

◎SDGsの理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）を踏まえ、行政のみならず、県民、地域、経済団体、労働団体、事業者、金融機関、NPOなどの多様なステークホルダーの参画が重要

- (1) 結婚・出産の支援の充実
 - 未婚者への交流や出会いの機会の提供
 - 非正規労働者や新規卒業者への支援
 - 地域で妊産婦を支える体制の整備
- (2) 子育てでセーフティネットの充実
 - 子どもの貧困対策の推進
 - 子育て世帯への経済的負担の軽減等
 - 待機児童の解消等
 - 多様な保育環境の整備
 - 青少年の健全育成
 - ひとり親家庭への支援
- (3) 女性の活躍推進
 - 女性の社会参加の推進
 - ワーク・ライフ・バランスの推進
 - 女性の就業促進
 - 男性の育児参加の推進
- (4) 健康長寿おきなわの推進
 - 生活習慣病の予防対策
 - 高齢者の社会参加促進
 - 自殺対策の推進

- (1) 雇用機会の拡大
 - 地場産業やリーディング産業の育成
 - 雇用環境の改善・障害者の雇用促進
- (2) 稼ぐ力の向上と地域産業の競争力強化
 - 地域の効率的な経済循環
 - 新事業・産業の創出
 - ベンチャー企業支援及び創業支援
 - 中小企業の経営基盤強化
 - 情報通信関連産業の高度化・多様化
 - 外国企業の沖縄への投資促進
 - 外国人材の活用促進
- (3) UJiターンへの環境整備
 - 移住者の受入促進・空き家対策の推進
 - 児童生徒の学習環境の整備
 - 多文化共生型社会の構築
- (4) 交流人口の拡大
 - 観光振興・多様なニーズに応じた環境整備
 - 黒山漁村と都市住民との交流
- (5) 関係人口の創出・拡大

- (1) 定住条件の整備
 - 交通・生活コスト低減・生活環境基盤整備
 - 教育に係る負担の軽減
 - 教育・学習環境の整備
 - 安定した医療、介護サービス提供
- (2) 特色を生かした産業振興
 - 観光・リゾート産業の振興
 - 農林水産業の振興
 - 地域特産の開発支援等
- (3) UJiターン・移住の推進
 - 事前情報の発信
 - 公共交通サービスの確保等
 - 定住促進住宅の整備
 - 体縁交流の促進や地域おこし協力隊の活用
- (6) 新しい人の流れを支えるまちづくり
 - 駐留軍用地跡地の利用推進
 - 中心市街地の活性化・政府関係機関の誘致
 - 日本版CCRC・小さな拠点づくり
- (7) 文化によるまちづくり
 - 文化の振興・活用
 - 首里城の復興

持続可能な地方創生を推進する取組
 (1) 人材を育て、活躍を支援する取組
 ・地域づくり組織の支援・地域防災力の向上
 ・沖縄の発展を担う人材の育成・多様な人材の育成・確保

持続可能な地方創生を推進する取組
 (2) 企業版ふるさと納税等の活用促進

持続可能な地方創生を推進する取組
 (3) 新しい時代の流れを力にした取組
 ・Society5.0実現に向けた技術の活用
 ・SDGsの推進

計画の効果的な実現態勢の構築

○ 沖縄県地方創生推進会議の設置

○ 重要業績評価指標(KPI)の設定

○ PDCAサイクルの確立

出典：沖縄県「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画（沖縄県まち・ひと・しごと創生総合戦略）」

(3)現状・課題の整理

①まち・ひと・しごとに関する現状・課題の整理

本町の人口動態や町内関係団体へのヒアリング結果などを踏まえて、本町における「まち」「ひと」「しごと」に関する現状及び課題を整理すると、次のようになります。

ア.「まち」に関する現状・課題

- 本町は、東海岸における北部地域の入り口である。沖縄自動車道の金武IC及び屋嘉ICが設置されていることから、那覇市まで1時間圏内となっており、中南部等との行き来は容易である。しかし、容易であるがため、町民の流出や北部へ向かう観光客等の素通りが懸念される。
- よい意味でも悪い意味でも、「基地の街」というイメージがある。異国の雰囲気は観光資源として活用されているが、定住化を考えた際には安全面などの不安がハードルとなっていると考えられ、町本来の魅力が十分に伝わっていない可能性がある。
- 本町は町土の約55%を米軍基地が占めており、活用できる土地が少ないことも課題のひとつである。選ばれるまちづくりを実践していくうえで、住宅用地や農業振興、企業誘致等に活用する際に、土地購入や整備の経緯に問題がある土地が多く、開発や整備には時間を要する可能性がある。
- 高齢化や後継者不足により閉店する商店が増加している。そのため、自家用車を持たない高齢者を中心に買い物難民が発生している。

イ.「ひと」に関する現状・課題

- 近年は出生数が減少しており、平成30(2018)年からは自然減に転じている。新型コロナウイルス感染症の影響も相まってこの傾向は続くと予想される。
- 転入数と転出数を比較するとここ数年は転出超過であり、特に進学等による若者の転出が顕著である。再び本町に戻りたいと考えたときに、住宅や仕事の確保が難しいことが課題である。
- ターン、Jターンのような移住者に本町を選択してもらうことも重要である。そのためにも、交流人口や関係人口の拡大を図り、本町に関心を持ってもらうことが必要である。しかし、観光業では新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、関心を持ってもらうきっかけが作りづらい状況がある。
- 本町においては、これまで学校教育における学習環境整備を行ってきており、その整備は十分になされていると考えられる。一方で、中学生の学力向上や町全体として教育に対する関心があまり高くないことが課題である。そのため、質の高い教育を受けさせたい町民の流出が懸念される。
- 小・中学生にむけたキャリア教育もなされてきている。今後は青年会などと連携して身近なモデルとして卒業生した先輩の話をきく取り組みなどを推進し、町外・県外・国外で活躍する事例や、町内で働きながら地域活動の担い手になっている事例など、多様な暮らし方に触れる機会の創出を図ることが重要である。

ウ.「しごと」に関する現状・課題

- ヒアリングより、各産業において若い世代の確保が課題となっていることが判明した。
- ヒアリングでは、各産業とも新型コロナウイルス感染症の影響により先行きを不安視する声が多い。これを機会と捉え、産業間の連携強化や拠点となる施設・機能の整備を推進することが必要である。

る。

- 就活支援センターの取り組みが本格化し、求人情報の提供における利便性確保や、資格取得支援や在職者のキャリアアップにむけた講座開催による人材育成がなされてきた。しかし、就活支援については、求職者と企業側の条件等があわないなど、マッチングが少ないことが課題である。

エ. その他

- 本町においては、各自治会において活発に自治会活動が行われている。公民館では学童保育を実施しており、公民館が若い頃から地域と触れ合える場所になっている。また、老人クラブや青年会活動も活発であり、特に青年会活動はUターンで戻ってきた町民の居場所づくりに貢献している。

②人口ビジョンを達成するための視点(再掲)

人口ビジョンで示した本町の将来人口展望(目標)を達成するための視点を再掲する。

目標人口を達成するための視点

①生まれる子どもの数を増やす

- 結婚・出産について町民の希望をかなえる
- 安心して産み育てられる環境を維持・強化する

②町民のUターンを促す

- 町民が住み続けられる環境をつくる（交通・情報ネットワークの整備、求人とのマッチングなど）

③町外からのIターン・Jターンを促す

- 選ばれるまちをつくる（魅力の醸成、発信）
- 希望者が住める環境をつくる（ハード・ソフト両面からの受け入れ環境の整備など）

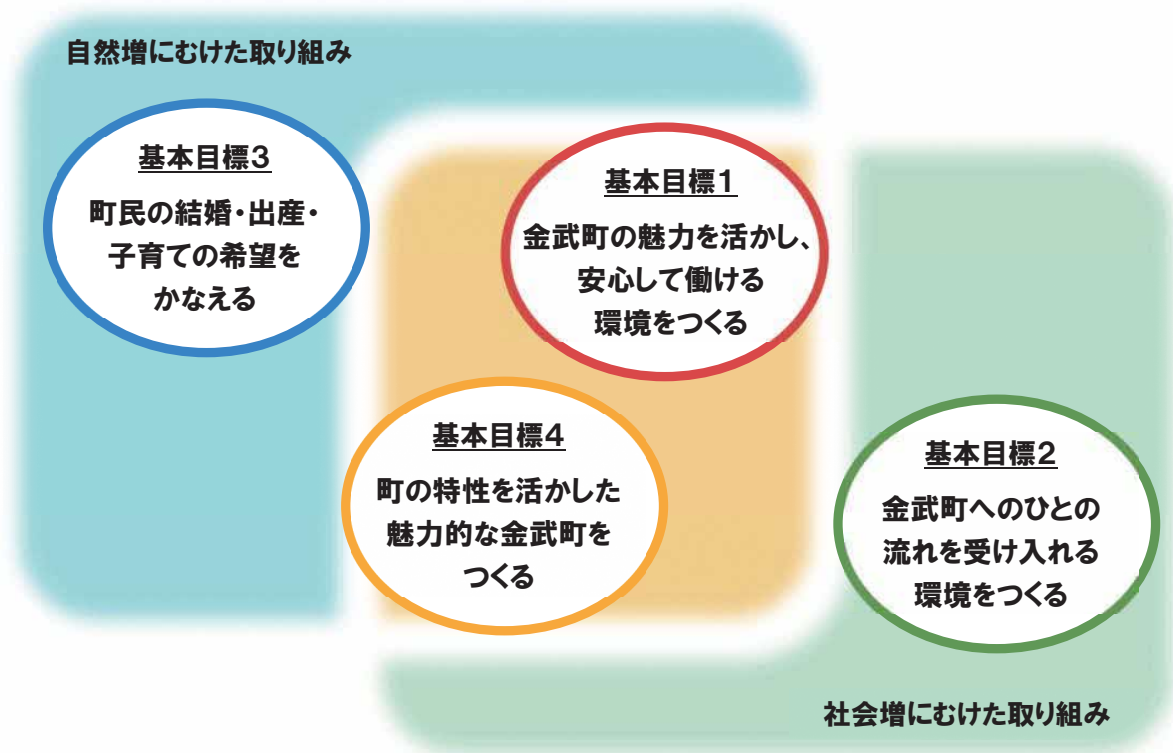
(4)基本目標と施策体系

①4つの基本目標+2つの横断的な視点

第1次の「地方版総合戦略(金武町版)」及び国・県の戦略の内容を踏まえ、本町における基本目標を下記のとおり設定します。

本町の人口維持・増加を考えた際には、自然増を維持しながら、社会増をさらに増やすことが大切です。そのため、自然増を増やすための取り組みと、社会増を増やすための取り組み、その両者をより促進するための取り組みを基本目標とします。また、4つの基本目標を横断する視点を2つ設定します。

| 第1期の基本目標 | | 第2期における基本目標 | |
|-----------------------------------|---|--|--------------------------|
| 基本目標1 金武町の魅力を活かした雇用の場を創出する | → | 基本目標1 金武町の魅力を活かし、安心して働ける環境をつくる | 横断的な視点1 多様な人材の活躍を推進する |
| 基本目標2 金武町へのひとの流れを受け入れる基盤をつくる | → | 基本目標2 金武町へのひとの流れを受け入れる環境をつくる | |
| 基本目標3 町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる | → | 基本目標3 町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる | |
| 基本目標4 金武町の特徴を活かした豊かなまちづくりを推進する | → | 基本目標4 町の特徴を活かした魅力的な金武町をつくる | |



②取り組み方針

本総合戦略は、「金武町人口ビジョン」で示した人口展望を実現するために、5年間で実施する施策等を取りまとめるものです。総合戦略においては、金武町第5次総合計画や関連計画の施策・事業内容との整合性を確保し、特に地方創生のために重要な取り組みを重点的に推進します。

また、国の総合戦略に盛り込まれた政策5原則を踏まえて、金武町に適したまちづくりを行います。そのためにも、金武町地方創生推進本部を中心に、外部有識者や議会等との連携を図る取り組み体制を構築し、時代の変化にあわせた戦略の見直しを行います。見直しにあたっては、PDCAサイクルを確立し、策定から検証・改善のプロセスを実施します。

③施策体系

基本目標の実現にむけて、以下の施策を実施します。

基本目標1 金武町の魅力を活かし、安心して働ける環境をつくる

個別施策1 働く人・働きたい人を支援し、多様な主体の活躍を推進する

個別施策2 町内産業の魅力向上を促進し、安心して働ける環境の創出を支援する

基本目標2 金武町へのひとの流れを受け入れる環境をつくる

個別施策1 交流人口・関係人口の増加にむけた環境整備を推進する

個別施策2 定住人口の増加を目指した環境整備を推進する

基本目標3 町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

個別施策1 町民が安心して結婚・出産・子育てできる環境を創出する

個別施策2 子どもの学びの機会を支援し、地域に誇りを持つ人材を育成する

基本目標4 町の特性を活かした魅力的な金武町をつくる

個別施策1 安心して住み続けられるまちを創出する

個別施策2 みんなが参加できる心豊かなまちづくりを推進する

次ページより、基本目標ごとの実施施策等について整理します。

基本目標1 金武町の魅力を活かし、安心して働ける環境をつくる

町民や移住者の定住を促すためには、働く環境の創出が重要な要素となります。そのため、就職支援や資格取得支援を行い働く人や働きたい人を支援するほか、町内産業の魅力向上や事業者の経営安定化を支援し、町民が安心して働ける環境の創出に努めます。

【基本的な方向】

働く人・働きたい人を支援し、多様な主体の活躍を推進する

- 商工会や就活支援センター等と連携して、これから創業したい人への各種支援や、求職者及び就労者のスキルアップにむけた資格取得支援、次の世代を担う子どもたちへのキャリア教育などを行うほか、企業誘致や町民の優先雇用に向けた支援を行い、働く人や働きたい人を支援します。

横断的な視点 (多様な人材の活躍)

各事業の推進にあたっては、女性や高齢者、障がい者など多様な主体が活躍できる環境の創出という視点を持って進めます。

町内産業の魅力向上を促進し、安心して働ける環境の創出を支援する

- 働きやすい職場環境の創出を目指して、経営安定化にむけた各種支援や産業の高次化や付加価値の創出を図るとともに、企業誘致や本町の特性を活かした特産品の開発・販売やブランド化、観光PRなどを促進し、産業の魅力向上を図ります。

横断的な視点 (新しい時代の流れ)

各事業の推進にあたっては、スマート農業・漁業やSNS等の活用による観光情報発信など、産業へのICT・IoTの活用という視点を持って進めます。

【数値目標】

| 指標 | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|--------------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------|
| 誘致企業数(累計) | 2企業 (2020年度/R2年度) | 3企業 | 基本目標5 施策3 |
| 就活支援センター利用者が雇用者 (非正規含む)となった人数(累計) | 153人 (2019年度/R1年度) | 230人 | 基本目標5 施策5 |
| ギンバル訓練場跡地の進出企業雇 用者数 | 105人 (2020年度/R2年度) | 185人 | 基本目標5 施策5 |

(1)個別施策1:働く人・働きたい人を支援し、多様な主体の活躍を推進する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|--------------------------------------|
| ① | 町内で新しく創業したい町民に対し、相談の受け付けや情報提供等の支援を行うほか、町内の空き店舗を活用し開業する事業者を支援する。 | ・金武町空き店舗対策事業 |
| ② | 求職者への相談員による就業に関する相談や、中小企業に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。 | ・金武町就職活動支援補助事業 |
| ③ | ギンバル訓練場返還跡地の残地利用や、進出企業の検討等を実施する。 | ・ギンバル訓練場返還跡地及び周辺地域の整備計画に関するプロジェクトチーム |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|---------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|--------------|
| ① | 空店舗対策事業による新規店舗の件数(累計) | 40店舗 (2019年度/R1年度) | 55店舗 | 基本目標5 施策3 |
| ② | 就活支援センターの紹介状発行件数 | 30件 (2020年度/R2年度) | 50件 | 基本目標5 施策5 |

(2)個別施策2:町内産業の魅力向上を促進し、安心して働ける環境の創出を支援する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|-----------------------------|
| ① | 事業所の経営の安定化や新たな取り組みを支援することで、町内事業者の経営基盤の強化を図る。 | ・町内経営基盤強化事業 |
| ② | キャリアアップを目指す就業者を支援し、町民のスキルアップを図り、より多くの職種に就ける人材を育成する。 | ・金武町就職活動支援補助事業 |
| ③ | 農林水産物や加工品などの販売機会を創出し、生産者の意欲向上と所得向上を目指すため、農林水産物直売所を整備する。 | ・農林水産物直売所(仮称)整備事業 |
| ④ | 各種観光拠点施設として、金武町観光交流センター(仮称)を整備し、金武町の観光PRを推進する。 | ・金武町観光交流センター(仮称)整備事業 |
| ⑤ | 金武町プレミアム付商品券事業を実施することにより、町内購買力を高め、事業所の販売意欲と所得向上を図る。 | ・金武町プレミアム付商品券事業 |
| ⑥ | 農林水産業の担い手の確保や育成を支援するため、加工・流通・販売分野の情報提供や相談・指導を実施する。 | ・農業次世代人材投資事業 ・新規就農一貫支援事業 |
| ⑦ | 観光施設や公共施設、文化財等のサイン・誘導板の整備及び多言語化、ICT環境の整備など、観光振興にむけた基盤整備を行う。 | ・金武町観光振興推進事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|---------------|----------|-------------------------------|----------------------|--------------|
| ⑤ | 商品券の販売額 | 110,000,000円 (2020年度/R2年度) | 110,000,000円 | 基本目標5 施策3 |
| ⑥ | 認定農業者数 | 34経営体 (2020年度/R2年度) | 44経営体 | 基本目標5 施策1 |
| | 認定新規就農者数 | 13経営体 (2020年度/R2年度) | 18経営体 | 基本目標5 施策1 |

基本目標2 金武町へのひとの流れを受け入れる環境をつくる

将来にわたって人口を維持し、活気にあふれた魅力あるまちづくりを推進するためには、多様な人材が活躍することが重要です。そのため、金武町ファンを増やし、みんなでまちづくりを進める気運の醸成や、定住にむけた環境の整備が必要です。金武町へのひとの流れを受け入れるための環境整備を、ハード・ソフト両面から進めます。

【基本的な方向】

交流人口・関係人口の増加にむけた環境整備を推進する

- 交流人口・関係人口の増加を目指して、町の情報発信・PRやイベントの実施、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の活用、そのための体制の強化などを推進します。

横断的な視点 (多様な人材の活躍)

各事業の推進にあたっては、金武ファンをつくる取り組みや、町民と来訪者が触れ合う機会の創出による町民の意識づくりという視点を持って進めます。

定住人口の増加を目指した環境整備を推進する

- 定住人口増加を目指して、町道や町営住宅の改良、交通のあり方の調査などを進め、住みやすいまちづくりを推進します。

横断的な視点 (新しい時代の流れ)

各事業の推進にあたっては、まちの基盤整備(まち)や、金武を好きになる・誇りに思う気持ち(ひと)、働き方(しごと)など多様な要因が絡み合って定住につながるという視点を持って進めます。

【数値目標】

| 指標 | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|--------------------|---------------------------|----------------------|--------------|
| ネイチャーみらい館利用者数 | 98,068人 (2019年度/R1年度) | 105,000人 | 基本目標5 施策4 |
| 金武町公式ホームページのアクセス件数 | 127,347件 (2019年度/R1年度) | 増加 | 基本目標3 施策8 |

(1)個別施策1:交流人口・関係人口の増加にむけた環境整備を推進する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|-------------------------------|
| ① | 交流人口の増加を目指し、観光施設や公共施設、文化財等のサイン・誘導板の整備及び多言語化、ICT環境の整備など、観光振興にむけた基盤整備を行う。 | ・金武町観光振興推進事業(再掲) |
| ② | 町内のスポーツ施設や地域資源を活かし、イベントや広域的なスポーツ交流を実施し、またキャンプ誘致を行うなど、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。 | ・プロスポーツ受入事業 ・スポーツコンベンション事業 |
| ③ | 交流人口増加にむけた取り組みを推進するため、体制の検討・構築を図り、観光産業促進に資する人材を育成する。 | ・観光ガイド育成支援事業 |
| ④ | 本町独自の自然や異文化空間を活かしたイベントを実施することにより、人を呼び込み地域の活性化を図る。 | ・地域活性化イベント事業 |
| ⑤ | 寄附者に対し町の特産物を中心とした特典を提供することで、町内で生産される農産物や加工品等を全国にPRする。 | ・金武町ふるさと応援寄附金事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|---------------|---------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------|
| ① | SNSによる情報配信の量 (令和2年度を100%とする) | 100% (2020年度/R2年度) | 100% | 基本目標3 施策8 |
| | 公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備箇所数 | 4箇所 (2020年度/R2年度) | 5箇所 | 基本目標3 施策8 |

(2)個別施策2:定住人口の増加を目指した環境整備を推進する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|-------------|
| ① | 公営住宅の整備により、子育て世代の定住人口の維持・拡充を図り、地域の活性化に寄与する。 | ・町営住宅建て替え事業 |
| ② | 行き止まり道路や狭隘道路の解消、集落内雨水排水路の整備を図るとともに、住宅地整備を促進するための道路整備を実施する。 | ・町道整備事業 |
| ③ | 誰もが移動しやすい金武町を目指して、本町の公共交通の現状と課題の把握や、求められる公共交通のあり方の検討にむけた調査等を行う。 | ・地域公共交通基礎調査 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|---------------|-------------------|------------------------|----------------------|--------------|
| ① | 町営住宅の建て替え事業等の実施棟数 | 0棟 (2020年度/R2年度) | 6棟 | 基本目標3 施策1 |
| ② | 町道の改良率 | 93.6% (2020年度/R2年度) | 94.5% | 基本目標3 施策2 |

基本目標3 町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本町では、これまでも子育てに関する多様な支援を行ってきており、出生数が多いことが特徴でした。しかし、近年は生まれる子どもの数は減少傾向にあります。他方、仕事と子育ての両立や子どもの貧困などの課題への対応も求められています。子育てに関する環境の改善を図り、町民が安心して結婚・出産・子育てできる環境の創出に努めます。

【基本的な方向】

町民が安心して結婚・出産・子育てできる環境を創出する

- 現在実施している子育て支援施策を今後も継続するとともに、結婚しやすい環境づくりや、不妊治療等への支援、子どもの貧困に関する調査・支援策の検討などを実施・継続し、町民が安心して子育てできる環境を創出します。

横断的な視点 (多様な人材の活躍)

各事業の推進にあたっては、保護者の就労支援や、仕事と子育ての両立の支援といった視点を持って進めます。

子どもの学びの機会を支援し、地域に誇りを持つ人材を育成する

- 町内の子どもたちが安心して学べる施設や環境の整備、海外との交流支援、学校と家庭の連携促進等を行うことで子どもたちの学びの機会を支援し、本町の歴史文化に誇りを持ち、町外・世界へ羽ばたく人材の育成を図ります。

横断的な視点 (新しい時代の流れ)

各事業の推進にあたっては、学びへのICTの活用をより推進するといった視点を持って進めます。

【数値目標】

| 指標 | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|----------------|---------------------|----------------------|--------------|
| 待機児童数 | 4人 (2020年度/R2年度) | 0人 | 基本目標1 施策1 |
| GIGAスクール構想整備校数 | 4校 (2020年度/R2年度) | 4校 | 基本目標2 施策2 |

(1)個別施策1:町民が安心して結婚・出産・子育てできる環境を創出する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|--|
| ① | 町内で新しく創業したい町民に対し、相談の受け付けや情報提供等の支援を行うほか、町内の空き店舗を活用し開業する事業者を支援する。 | ・金武町空き店舗対策事業(再掲) |
| ② | ギンバル訓練場返還跡地の残地利用や、進出企業の検討等を実施する。 | ・ギンバル訓練場返還跡地及び周辺地域の整備計画に関するプロジェクトチーム(再掲) |
| ③ | 不妊治療等への助成を行い、町民が安心して出産できるよう支援する。 | ・不妊・不育治療費等助成事業 |
| ④ | 子育て世帯への各種支援を行い、負担軽減を図る。 | ・放課後児童健全育成事業 ・子育て激励金支給事業 ・子ども医療費助成事業 |
| ⑤ | 待機児童問題への対策や、保護者の就活支援等を行い、町民の仕事と子育ての両立を支援する。 | ・一時預かり保育事業 ・金武町就職活動支援補助事業 |
| ⑥ | 子どもの貧困に対する現状把握調査を実施するとともに、その支援策のあり方について検討する。 | ・子どもの貧困対策事業 |
| ⑦ | 学校給食の完全無料化を実施し、保護者への経済的支援を図る。 | ・学校給食無料化事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|-----------------------|-----------------------|----------------------|--------------|
| ④ 放課後児童健全育成事業 受入人数 | 283人 (2020年度/R2年度) | 291人 | 基本目標1 施策1 |
| ⑤ 認可基準に則した児童の受 入人数 | 815人 (2020年度/R2年度) | 830人 | 基本目標1 施策1 |

(2)個別施策2:子どもの学びの機会を支援し、地域に誇りを持つ人材を育成する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|--|------------------|
| ① | 教育の振興を目的に、町内の学校教育施設及び環境の整備・拡充を図る。 | ・教育環境整備事業 |
| ② | 育英資金の貸付事業を行い、町民の大学などへの進学を支援する。また、対象校種の拡大について検討する。 | ・金武町育英資金貸付事業 |
| ③ | 子どもが成長する過程において地域が果たす責任と役割を認識し、地域と学校が連携して子どもを育てる環境や体制を構築する。 | ・金武町放課後子ども教室 |
| ④ | 町民が教育に対する意識と関心を高めるとともに、地域全体で子どもたちを守り育てる環境づくりを推進し、町における教育の充実と発展を図る。 | ・「教育の日」関連事業 |
| ⑤ | 町の青年を海外へ派遣することにより、国際交流の機会を創出し、国際的に活躍できる人材を育成する。 | ・青年海外派遣事業 |
| ⑥ | 町出身の海外移住者の子弟等を本町に招き、町民との交流や本町の文化の体験を図り、移住地との絆を深める。 | ・海外移住者子弟等研修生受入事業 |
| ⑦ | 「移民の日」に関連した事業やシンポジウムを開催し「海外雄飛の里金武町」としての町民の意識を醸成する。 | ・「移民の日」関連事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|-----------------------|----------------------|----------------------|--------------|
| ② 育英資金貸与生人数(新規・継続) | 39人 (2020年度/R2年度) | 39人 | 基本目標2 施策6 |
| ③ 金武町放課後子ども教室の開催回数 | 48回 (2020年度/R2年度) | 72回 | 基本目標2 施策5 |
| ⑤ 青年海外派遣研修生派遣人数(累計) | 20人 (2020年度/R2年度) | 30人 | 基本目標2 施策8 |
| ⑥ 海外移住者子弟等研修生受入人数(累計) | 86人 (2020年度/R2年度) | 101人 | 基本目標2 施策8 |

基本目標4 町の特性を活かした魅力的な金武町をつくる

町民に住み続けてもらうことや、移住者の定着には、生活環境の充実が必要です。防犯・防災対策や、都市サービス受給の支援など、町民が安心して暮らせる環境の創出が求められています。また、本町の自然・歴史・文化・地域性などの特性を活かした豊かな暮らしを促進し、町民が誇りに思える選ばれるまちづくりを進めます。

【基本的な方向】

安心して住み続けられるまちを創出する

- 買い物環境改善への支援や、防犯・防災対策・交通安全対策を実施し、町民が安心して暮らせる住みよいまちを創出します。

横断的な視点 (新しい時代の流れ)

各事業の推進にあたっては、SDGsの「ゴール11:住み続けられるまちづくりを」の推進にむけて、交通や防災など持続的なまちづくりの視点を持って進めます。

みんなが参加できる心豊かなまちづくりを推進する

- 町内の歴史文化の継承や、各地域における自主的な行政区運営を目指し、地域が主体となってまちづくりを行う気運の醸成などを図ります。

横断的な視点 (多様な人材の活躍)

各事業の推進にあたっては、まちづくりへの多様な主体の参加を促すなど、官民協働のまちづくりの視点を持って進めます。

【数値目標】

| 指標 | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|-------------|----------------------|----------------------|--------------|
| 防災訓練の種類数 | 2種類 (2020年度/R2年度) | 4種類 | 基本目標4 施策3 |
| 交通安全運動の実施回数 | 4回 (2020年度/R2年度) | 4回 | 基本目標4 施策4 |
| 区との行政懇談会開催数 | 5回 (2020年度/R2年度) | 5回 | 基本目標6 施策3 |

(1)個別施策1:安心して住み続けられるまちを創出する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|-----------------------|
| ① | 全世帯への確実な情報伝達システムを確立するため、あらゆる災害を想定した防災性の高い戸別受信機を全世帯・屋内へ整備する。 | ・金武町防災情報システム戸別受信機整備事業 |
| ② | 高齢者の運転する自動車による事故を防止し、町民の安全と安心に資するため、町内の高齢者ドライバーに対し、安全運転支援装置を設置した場合に要する経費の一部を補助金として交付する。 | ・金武町サポカー推進事業補助金 |
| ③ | 防犯カメラ設置を行い、安心なまちづくりを推進する。 | ・防犯カメラ整備事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|--------------------|----------------------|----------------------|--------------|
| ① 防災情報戸別受信機の普及率 | 0% (2020年度/R2年度) | 80% | 基本目標4 施策3 |
| ② サポカー補助金の交付件数(累計) | 60件 (2020年度/R2年度) | 180件 | 基本目標4 施策4 |
| ③ 防犯カメラ設置台数 | 33台 (2020年度/R2年度) | 増加 | 基本目標4 施策4 |

(2)個別施策2:みんなが参加できる心豊かなまちづくりを推進する

【具体的な施策と主な事業】

| 施策の内容 | | 主な事業 |
|-------|---|----------------------------|
| ① | 町内の伝統芸能等の歴史文化の継承を支援し、文化の薫り高いまちづくりを促進する。 | ・地域文化継承・支援事業 ・中央公民館公演事業 |
| ② | 男女共同参画社会を目指し、女性のまちづくりへの参加を促す。 | ・女性による町づくり提言委員会 |
| ③ | 地域住民の実生活に即した教育、学術、文化等に関する調査、研究に努め、生活文化の進行と社会福祉の増進に寄与する。 | ・5館合同事業 |

【重要業績評価指標】 ※番号は具体的な施策に対応

| 重要業績評価指標(KPI) | | 現況値 | 目標値 (2025年度/R7年度) | 総合計画 |
|---------------|---------------|---------------------|----------------------|--------------|
| ① | 民俗芸能祭の開催回数 | 1回 (2019年度/R1年度) | 1回 | 基本目標2 施策7 |
| | 歴史文化関連講座の実施回数 | 4回 (2020年度/R2年度) | 4回 | 基本目標2 施策7 |

人口ビジョン [令和2(2020)年時点見直し]
(目標:2060年)

1. 人口の現状

●人口増加の要素はあるが、油断は禁物

- ・本町の人口はこれまで増加傾向だったが、ここ数年は減少傾向にある。
- ・「平成25年～平成29年人口動態保健所・市町村別統計」によれば、本町の合計特殊出生率は2.47で全国1位。しかし、平成30年からは減少傾向がみられるため、今後の動向を注視する必要がある。
- ・転入及び転出の傾向は年によってまちまちだが、近年は民間マンションの建設などがみられるため、今後一定数の転入が見込まれる。
- ・全国的に高い合計特殊出生率やマンション建設など、人口増加へつながると考えられる要素はあるが、総人口が減少傾向にあることを踏まえて、今後も住みやすいまち・選ばれるまちづくりを進める必要がある。

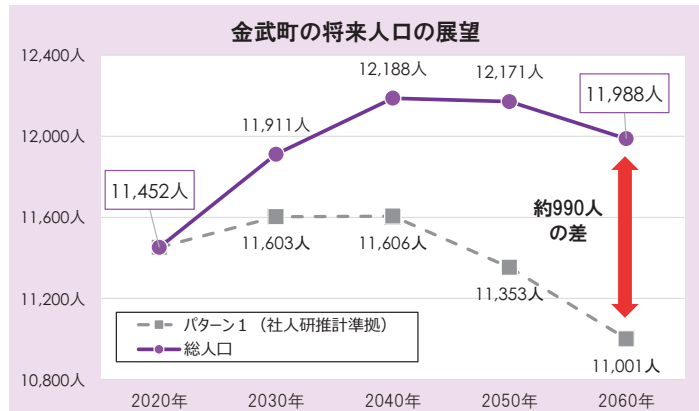
●超高齢社会の深刻化の懸念

- ・高齢化はかなり進んでおり、すでに「超高齢社会」となっている。
- ・1世帯あたり人員は年々減少しており、核家族化・独居化が進んでいる。

2. 人口展望 (目標人口)

●人口の将来展望 (2060年) : 12,000人程度を維持

- ・合計特殊出生率を段階的に増加させ、30年後の2050年に2.47まで増加させることを目指す。



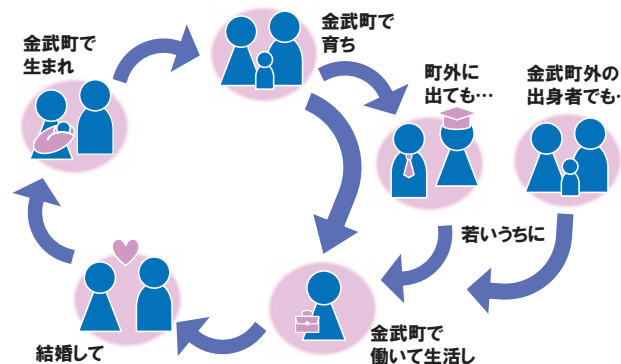
3. 目指すべき方向性

●生まれる子どもの数を増やす

- ・結婚・出産について町民の希望をかなえる
- ・安心して産み育てられる環境を維持・強化する

●町民のUターンを促す

- ・町民が住み続けられる環境をつくる
- 町外からのIターン・Jターンを促す
 - ・選ばれるまちをつくる
 - ・希望者が住める環境をつくる



第2期 金武町まち・ひと・しごと・創生総合戦略
(目標:2025年)

■基本目標・個別施策

■具体的な取り組み

■横断的な視点

基本目標1
金武町の魅力を活かし、安心して働ける環境をつくる



個別施策1:働く人・働きたい人を支援し、多様な主体の活躍を推進する

- ① 町内で新しく創業したい町民に対し、相談の受け付けや情報提供等の支援を行うほか、町内の空き店舗を活用し開業する事業者を支援する。
- ② 求職者への相談員による就業に関する相談や、中小企業に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供を行う。
- ③ ギンバル訓練場跡地の残地利用や、進出企業の検討等を実施する。

個別施策2:町内産業の魅力向上を促進し、安心して働ける環境の創出を支援する

- ① 事業所の経営の安定化や新たな取り組みを支援することで、町内事業者の経営基盤の強化を図る。
- ② キャリアアップを目指す就業者を支援し、町民のスキルアップを図り、より多くの職種に就ける人材を育成する。
- ③ 農林水産物や加工品などの販売機会を創出し、生産者の意欲向上と所得向上を目指すため、農林水産物直売所を整備する。
- ④ 各種観光拠点施設として、金武町観光交流センター(仮称)を整備し、金武町の観光PRを推進する。
- ⑤ 金武町プレミアム付商品券事業を実施することにより、町内購買力を高め、事業者の販売意欲と所得向上を図る。
- ⑥ 農林水産物の担い手の確保や育成を支援するため、加工・流通・販売分野の情報提供や相談・指導を実施する。
- ⑦ 観光施設や公共施設、文化財等のサイン・誘導板の整備及び多言語化、ICT環境の整備など、観光振興にむけた基盤整備を行う。

基本目標2
金武町へのひとの流れを受け入れる環境をつくる



個別施策1:交流人口・関係人口の増加にむけた環境整備を推進する

- ① 交流人口の増加を目指し、観光施設や公共施設、文化財等のサイン・誘導板の整備及び多言語化、ICT環境の整備など、観光振興にむけた基盤整備を行う。
- ② 町内のスポーツ施設や地域資源を活かし、イベントや広域的なスポーツ交流を実施し、またキャンプ誘致を行うなど、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。
- ③ 交流人口増加にむけた取り組みを推進するため、体制の検討・構築を図り、観光産業促進に資する人材を育成する。
- ④ 本町独自の自然や異文化空間を活かしたイベントを実施することにより、人を呼び込み地域の活性化を図る。
- ⑤ 寄附者に対し町の特産物を中心とした特典を提供することで、町内で生産される農産物や加工品等を全国にPRする。

個別施策2:定住人口の増加を目指した環境整備を推進する

- ① 公営住宅の整備により、子育て世代の定住人口の維持・拡充を図り、地域の活性化に寄与する。
- ② 行き止まり道路や狭隘道路の解消、集落内雨水排水路の整備を図るとともに、住宅地整備を促進するための道路整備を実施する。
- ③ 誰もが移動しやすい金武町を目指して、本町の公共交通の現状と課題の把握や、求められる公共交通のあり方の検討にむけた調査等を行う。

基本目標3
町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



個別施策1:町民が安心して結婚・出産・子育てできる環境を創出する

- ① 町内で新しく創業したい町民に対し、相談の受け付けや情報提供等の支援を行うほか、町内の空き店舗を活用し開業する事業者を支援する。
- ② ギンバル訓練場跡地の残地利用や、進出企業の検討等を実施する。
- ③ 不妊治療等への助成を行い、町民が安心して出産できるよう支援する。
- ④ 子育て世帯への各種支援を行い、負担軽減を図る。
- ⑤ 待機児童問題への対策や、保護者の就活支援等を行い、町民の仕事と子育ての両立を支援する。
- ⑥ 子どもの貧困に対する現状把握調査を実施するとともに、その支援策のあり方について検討する。
- ⑦ 学校給食の完全無料化を実施し、保護者への経済的支援を図る。

個別施策2:子どもの学びの機会を支援し、地域に誇りを持つ人材を育成する

- ① 教育の振興を目的に、町内の学校教育施設及び環境の整備・拡充を図る。
- ② 育英資金の貸付事業を行い、町民の大学などへの進学を支援する。また、対象校種の拡大について検討する。
- ③ 子どもが成長する過程において地域が果たす責任と役割を認識し、地域と学校が連携して子どもを育てる環境や体制を構築する。
- ④ 町民が教育に対する意識と関心を高めるとともに、地域全体で子どもたちを守り育てる環境づくりを推進し、町における教育の充実と発展を図る。
- ⑤ 町の青年を海外へ派遣することにより、国際交流の機会を創出し、国際的に活躍できる人材を育成する。
- ⑥ 町出身の海外移住者の子弟等を本町に招き、町民との交流や本町の文化の体験を図り、移住地との絆を深める。
- ⑦ 「移民の日」に関連した事業やシンポジウムを開催し「海外雄飛の里金武町」としての町民の意識を醸成する。

基本目標4
町民の特性を活かした魅力的な金武町をつくる



個別施策1:安心して住み続けられるまちを創出する

- ① 全世帯への確実な情報伝達システムを確立するため、あらゆる災害を想定した防災性の高い戸別受信機を全世帯・屋内へ整備する。
- ② 高齢者の運転する自動車による事故を防止し、町民の安全と安心に資するため、町内の高齢者ドライバーに対し、安全運転支援装置を設置した場合に要する経費の一部を補助金として交付する。
- ③ 防犯カメラ設置を行い、安心なまちづくりを推進する。

個別施策2:みんなが参加できる心豊かなまちづくりを推進する

- ① 町内の伝統芸能等の歴史文化の継承を支援し、文化の薫り高いまちづくりを推進する。
- ② 男女共同参画社会を目指し、女性のまちづくりへの参加を促す。
- ③ 地域住民の実生活に即した教育、学術、文化等に関する調査・研究に努め、生活文化の進歩と社会福祉の増進に寄与する。

横断的な視点2
新しい時代の流れを力にする

・ SNSやe-CO-OPの活用
・ まち・ひと・しごとの多様な要因が絡み合っただけで定住につながるという視点

・ 持続的なまちづくりの視点

横断的な視点1
多様な人材の活躍を推進する

・ 女性や高齢者、障がい者など多様な主体性が活躍できる環境の創出
・ みんなでまちづくりを進める気運の醸成

・ 保護者の就労支援や、仕事と子育ての両立支援
・ 官民協働のまちづくりの視点

